

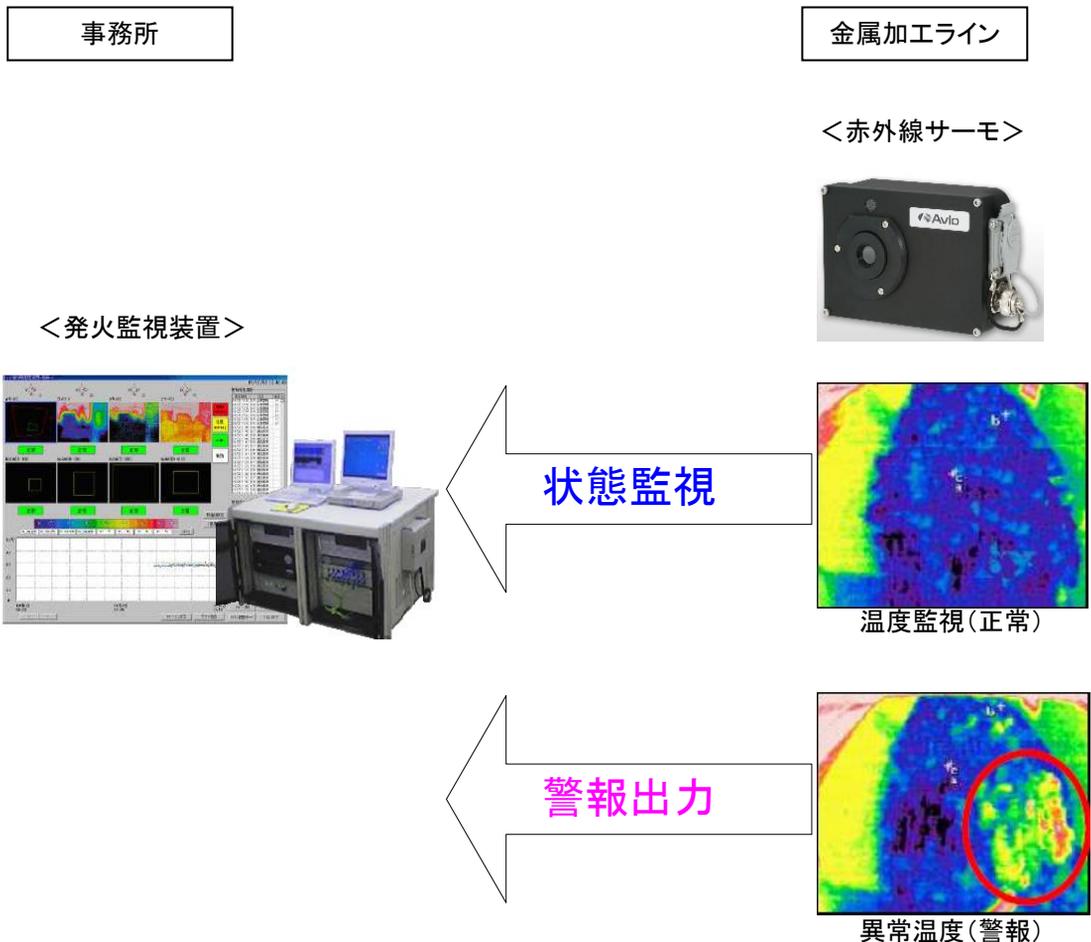
【システム概要】

金属加工ラインで摩擦による自然発火が発生。発火場所の特定したい。

Point !

1. 発火監視装置と赤外線サーモは、Ethernet経由で接続されています。
2. 発火監視装置は、赤外線サーモからの温度状態をモニタ監視しています。
3. 温度異常時、赤外線サーモから警報出力されます。
4. 発火監視装置は警報出力時の画像保存でき、分析ツールにて発生状態の分析可能です。

以下の構成イメージは発火監視システムを導入した例になります。



【運用イメージ】

1. 金属加工途中で摩擦により発熱⇒自然発火が発生⇒火災の恐れや製品不良
2. コンベア移動中に発熱の疑い
3. 赤外線サーモグラフィ導入により、発火を検知し、場所を特定。必要な対策をたてる。